




「日本」の中の「雫石」の歴史（ミニ通史）

資料 時代区分表

<旧石器時代～古代>

時代区分と年代	できごと（全国）	できごと（岩手・雫石）
旧石器（きゅうせっき） ～約1万2000年前		※平成18年に板橋Ⅲ遺跡で発見された「石器（台形様石器・だいけいようせっき）」は約32000年前のものと推定される。
 約1万2000年前～ 縄文（じょうもん） ～紀元前4世紀頃	紀元前5～4世紀 稲作が日本に伝来	縄文時代は、現在6つの区分<草創期、早期、前期、中期、後期、晩期>に分けられています。 ・早期…桜松遺跡（貝殻紋土器） 堀割遺跡（同上） ・前期…仁佐瀬Ⅰ遺跡（植物の繊維を含む土器） ・中期…塩ヶ森Ⅰ遺跡（板状土偶） 小日谷地ⅠB遺跡（伏甕） ・後期…大谷地遺跡 ・晩期…桜沼遺跡（遮光器式土偶） 雫石町内で確認されている210カ所の遺跡のうち、8割にあたるおよそ170カ所は縄文時代の遺跡ですが、今のところ草創期の遺跡だけは発見されていません。
紀元前4世紀頃～ 弥生（やよい） ～3世紀後半	2世紀後半 卑弥呼が 邪馬台国の女王になる	この時代における岩手県・雫石町周辺の様子は詳しくわかっていません。 ・伝久遺跡（弥生式土器）

<古代～中世>

 3世紀後半～ 古墳（こふん） ～592年	538年 仏教が正式に日本に伝来する。	その地域の権力者（豪族など）が死ぬと大きな古墳（墓）がつくられるようになり、やがて全国に広まりました。 岩手県内では5世紀に今の奥州市（旧胆沢町）に角塚古墳（前方後円墳）が造られました。その後7世紀～8世紀にかけて小さな古墳（円墳）がたくさん造られるようになりました。 （例…… 岩手町の浮島古墳群など） 雫石町内では確認されず
--	---------------------	---

<p>592年～ 飛鳥 (あすか) ～710年</p>	<p>645年 大化の改新が始まる。</p>	<p>町内三大杉（多賀、雫石、山祇神社境内・樹齢1400年）はこの頃は若木？</p>
<p>710年～ 奈良 (なら) ～794年</p>	<p>752年 東大寺大仏開眼供養。</p>	<p>東北（岩手周辺）には、蝦夷（えみし）と呼ばれた人びとが住み、その族長の阿弭流為（あてるい）が中心になって周辺をまとめていました。 ※この頃、東北地方で「金（きん）」が大量に発見され中央に献上されました。</p>
<p>794年～ 平安 (へいあん) ～1185年</p>	<p>794年 平安京遷都 1086年 白河上皇院政</p>	<p>801年 征夷大將軍の坂上田村麻呂が東北地方の攻略のため出兵。802年胆沢城、803年志波城（盛岡市）が造営されました。 ※807年 雫石に大宮神社が建てられたと伝えられています。 1051～1062年 前九年の合戦。安倍貞任一族が源頼義らに滅ぼされる。 1126年 藤原清衡によって平泉中尊寺の金色堂が完成しました。 ※この頃から平泉の藤原氏が大きな力を持ち始め「北方の王者」といわれた。雫石周辺にも戸沢氏らの小豪族が存在していたと思われます。</p>
<p>1185年～ 鎌倉 ～1333年</p>	<p>1192年 源頼朝征夷大將軍になる。</p>	<p>1189年 武家の棟梁源頼朝が、弟義経を追って平泉を攻め、その後厨川（今の盛岡）まで来る。平泉藤原氏四代で滅亡。 ※戸沢氏が雫石と秋田の川北郡の一部を頼朝から与えられたとされる。</p>
<p>1333年～ 室町 ～1493年</p>	<p>1333年 鎌倉幕府滅亡 1336年 南北朝に分裂 1338年 足利尊氏が征夷大將軍になる 1392年 南北朝合体</p>	<p>1340年 雫石周辺の豪族滴石氏が南朝方に味方し滴石城築く。 1346年 鎮守府將軍北畠顯信が滴石大字綱木（繫）の地に軍を駐留させ滴石御所を開く。（～1351） ※一説に下町の八幡宮の所にあった滴石城に5年間いたとも伝えられる。</p>
<p>1493年～ 戦国 (室町) ～1568年</p>	<p>1543年 日本に鉄砲伝来</p>	<p>1540年 南部晴政の叔父石川高信により滴石城が攻略される。 1546年 斯波氏の二男詮貞が滴石城を攻撃して占領。滴石を雫石に改称し、雫石城主となる</p>



<p>1568年～ 安土桃山 ～1603年</p>	<p>1568年 織田信長入京 1582年 本能寺の変 1590年 秀吉が天下統一</p>	<p>1572年 綾織越前土樋堰の工事に入る。 1575年 雫石城改修工事完了。土樋堰の水が雫石城に通水。 1584年 南部信直が周辺諸氏とともに雫石城を攻撃。 1586年 雫石氏が南部に攻められ敗北。よしやれ譚（ものがたり）の発祥？ ※以降、南部氏の勢力拡大。 1591年 盛岡城築城開始。雫石城破却。</p>
<p><近世 ～></p>		
<p>1603年～ 江戸 ～1863年</p>	<p>1600年 関ヶ原の戦い 1603年 徳川家康征夷大將軍になる。 ※江戸幕府開く。</p> <p>1635年 参勤交代が制度化される。 1639年 “鎖国”が完成</p> <p>1716年 享保の改革 1767年 田沼意次時代へ 1787年 寛政の改革</p> <p>1841年 天保の改革 1853年 ペリー来航</p>	<p>1603年 この頃、秋田街道に生森一里塚築造（日向、高前田、赤沢も）（※1630年説もある。）橋場に御番所を設置</p> <p>※秋田街道は脇街道ながら秋田港～盛岡城下を結ぶ主要道として発展。後に御馬買い衆が通る道としても整備され発達しました。</p> <p>1614年 南部利直が大坂冬の陣に参戦。</p> <p>1633年 南部氏 10万石の軍役となる。</p> <p>※中央の経済や文化が秋田に上陸。国見峠や秋田街道を通じて盛岡まで運ばれるなど賑わい始める。</p> <p>1640年 秋田街道が仁佐瀬経由になる。</p> <p>1802～1817年 雫石代官所体制も整備。</p> <p>1833年 御明神の日陰堰が原直記によって籬野まで通される。</p> <p>1838年 天保の大飢饉 以降も毎年のように凶作や風水害が続き農民たちは大いに困った。</p> <p>1849年 国見峠のお境柱を石柱に建替え</p> <p>1868年 6月奥羽鎮撫総督九条道孝公</p>



<p>(盛岡城)</p> 	<p>1868年 鳥羽伏見の戦い (戊辰戦争) 始まる</p>	<p>一行数百人が臨濟寺(中寺)に一泊して秋田に向かった。 7月 盛岡藩が秋田藩を攻撃(橋場と生保内口で激戦。) 9月 官軍が盛岡城総攻撃を前に雫石の町に10日間も駐留。 10月 盛岡藩が正式に降伏。城受け取りのため官軍が盛岡に向かって進軍。</p>
<p><近代~></p>		
<p>1868年~</p> <p>明治 ~1912年</p> 	<p>1871年 廃藩置県</p> <p>1904年 日露戦争</p> <p>1907年 小学校義務教育 6ヶ年制になる。</p>	<p>1869年 雫石代官所が廃止される。 1873年 西根・安庭に小学校できる。 1874年 長山・上野・雫石小学校できる。 1891年 東北本線開通 小岩井農場が開業する。</p> <p>1902年 御明神志戸前山林払下げられ 4878haが村有林となる。</p> <p>1906年 盛岡高等農林学校附属御明神 経済農場、同演習林設けられる。</p> <p>1909年 セツ森が国から雫石村に払い 下げられる。</p> <p>1911年 葛根田橋が架橋される。</p> <p>1912年 雫石郵便局に盛岡雫石間特設 電話架設される。</p>
<p>1912年~</p> <p>大正 ~1926年</p>	<p>1914年 第1次世界大戦 日本も参戦する。</p>	<p>1913年 雫石村、御所村の一部に電気 が入る。 長山に盛岡電灯会社葛根田発 電所が完成。</p> <p>1916年 岩手山神社が県社になる。</p> <p>1918年 盛岡出身の原敬(はらたかし) が総理大臣就任</p> <p>1921年 国鉄橋場線雫石駅開業する。 1922年 // 橋場駅開業。 山伏一雫石停車場線県道になる。</p>
<p>1926年~</p>	<p>1941年太平洋戦争始まる 1945年 広島に原爆投下</p>	<p>1955年 雫石町ほか3つの村が合併し て新「雫石町」が誕生した。 旧町村名〔雫石町+御所村+</p>

<p>昭和 ～1989年</p>		<p>御明神村+西山村]</p> <p>1960年 チリ地震津波の被害 1975年 雫石中学校が実質統合 1981年 御所ダムができる。 1982年 東北新幹線盛岡開業 1985年 新しい中央公民館ができる。 1986年 運動公園に体育館ができる。</p>
<p>1989年～ 平成 ～現在 (2014年)</p>		<p>1993年 世界アルペンスキー大会を雫石スキー場で開催 1994年 下長山・御明神・雫石小学校が創立120周年を迎える。 七ツ森小学校が開校10周年を迎える。</p>